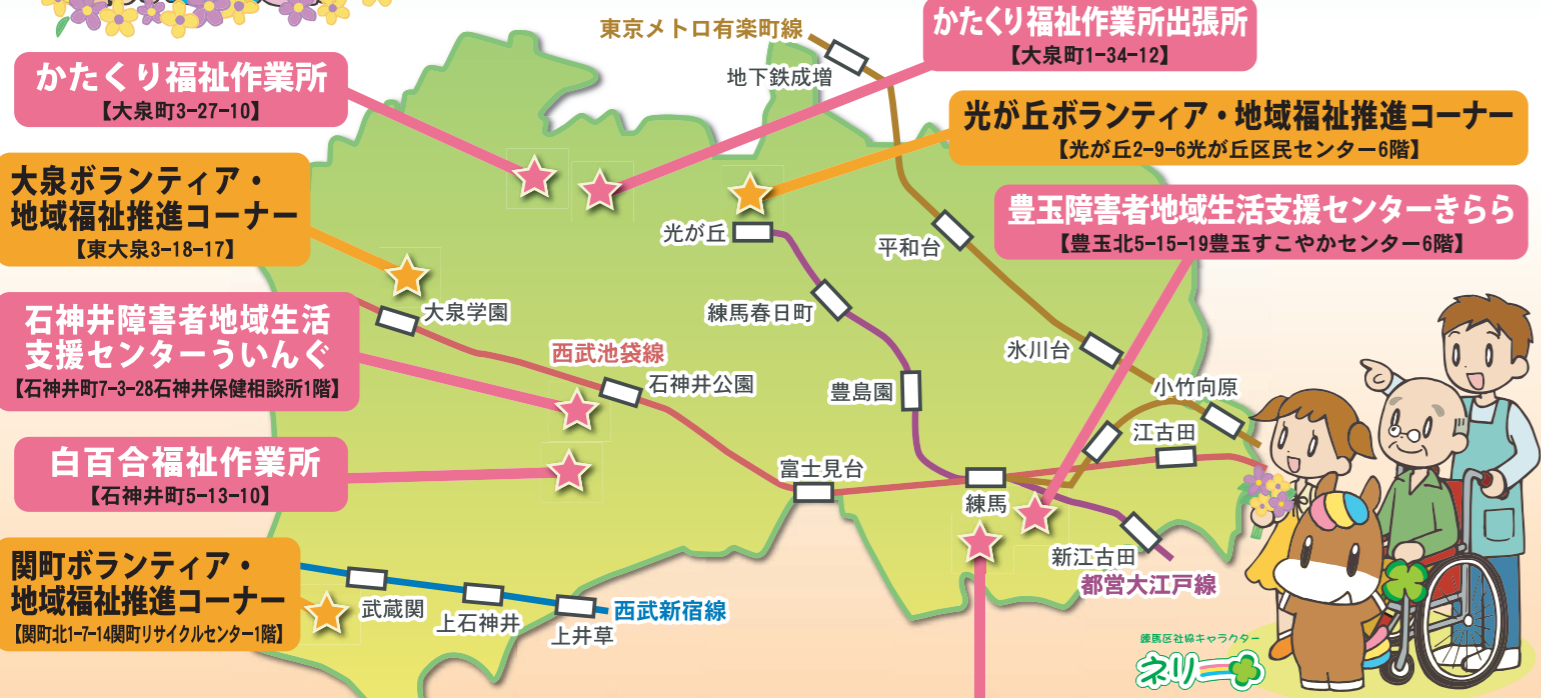


練馬区社会福祉協議会マップ

～お気軽にご相談ください～



▶ 経営管理課総務係 ▶ 権利擁護センター ぽっとサポートねりま ▶ ボランティア・地域福祉推進センター

問い合わせ ■(代表) 〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6-12-1 練馬区役所東庁舎4階 ■TEL: 03-3992-5600

連絡先一覧

練馬区社会福祉協議会 〒176-8501 練馬区豊玉北6-12-1 練馬区役所東庁舎4階
<http://www.neri-shakyo.com/> E-mail info@neri-shakyo.com

- 経営管理課**
- 総務係 TEL 3992-5600 FAX 3994-1224
 - 福祉資金担当 TEL 3991-5560 FAX 3994-1224
 - チェアキャブ担当 TEL 3991-8239 FAX 3994-1224
 - 在宅サービス担当 TEL 3993-4346 FAX 3994-1224
- 白百合福祉作業所**
 〒177-0041 練馬区石神井町5-13-10
 TEL 3995-7796 FAX 3997-3866
- 地域福祉課**
- 権利擁護センターぽっとサポートねりま TEL 5912-4022 FAX 3994-1224
 - ボランティア・地域福祉推進センター TEL 3994-0208 FAX 3994-1224
 - 光が丘ボランティア・地域福祉推進コーナー (土日祝 休み) 〒179-0072 練馬区光が丘2-9-6 光が丘区民センター 6階 TEL&FAX 5997-7721
 - かたくり福祉作業所 〒178-0062 練馬区大泉町3-27-10 TEL 5387-4610 FAX 5387-4612
 - かたくり福祉作業所 出張所 〒178-0062 練馬区大泉町1-34-12 TEL&FAX 5935-6698
 - 豊玉障害者地域生活支援センター「きらら」(水祝 休み) 〒176-0012 練馬区豊玉北5-15-19 豊玉すこやかセンター 6階 TEL 3557-9222 FAX 3557-2090
 - 石神井障害者地域生活支援センター「ういんぐ」(火祝 休み) 〒177-0041 練馬区石神井町7-3-28 1階(併設:石神井保健相談所) TEL 3997-2181 FAX 3997-2182
 - 大泉ボランティア・地域福祉推進コーナー (日月祝 休み) 〒178-0063 練馬区東大泉3-18-17 TEL 3922-2422 FAX 3922-2412
 - 関町ボランティア・地域福祉推進コーナー (水日祝 休み) 〒177-0051 練馬区関町北1-7-14 関町リサイクルセンター 1階 TEL 3929-1467 FAX 3929-1497

練馬区社協は、みなさまからの会費や寄付金によって支えられています。練馬区社協の活動を応援してください。



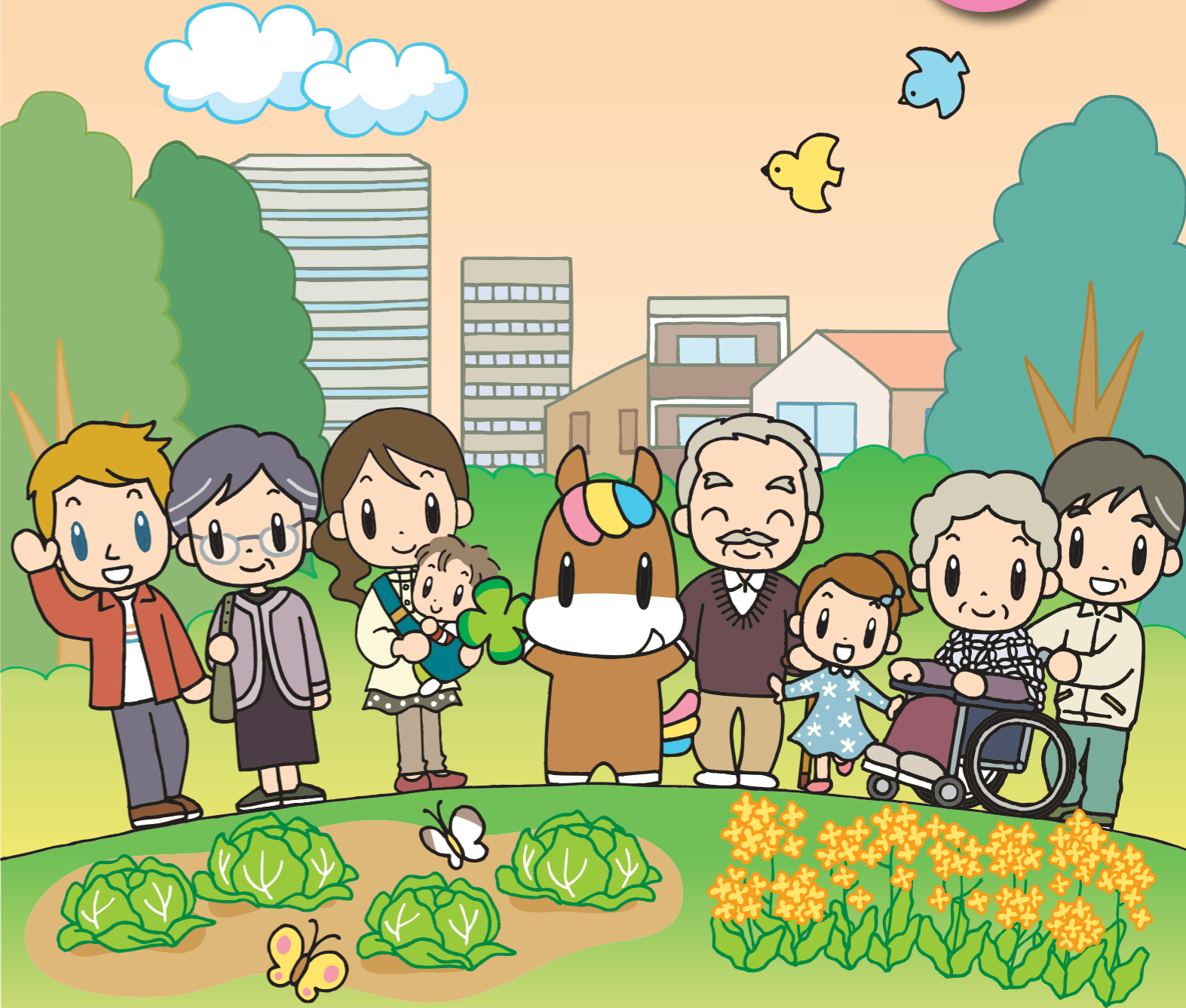
練馬区社会福祉協議会

第3次地域福祉活動計画

平成23(2011)年度～平成26(2014)年度

ひとりの不幸も見逃さない ～つながりのある地域をつくる～

概要版



社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会

平成23年という現在・・・

子どもや高齢者への虐待、自殺者や生活困窮者の増加など、今、私たちは様々な問題に直面しています。

かつての日本は地域の相互扶助により人々の暮らしが支えられている面が多くありましたが、現在、地域社会の支え合う関係や家族の機能の弱まりが顕著になっています。



今 私たちにできること・・・

住民同士のつながりや支え合いのある関係性を再生するためにはどんなことが必要でしょうか。

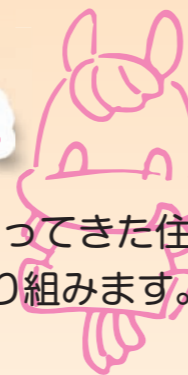
それは、私たち一人ひとりが社会福祉の問題を自分の問題としてとらえていくことから始まります。すでに行動を起こしているたくさんの人たちと一緒に、地域の福祉施策や福祉課題に関心を深めたり、地域福祉活動に参加するなど、私たちがそれぞれの立場や役割の中でできることを行うことによって、地域のつながりができると考えています。



そこで地域福祉活動計画をつくりました

練馬区社会福祉協議会は、これまでもさまざまな活動をおこなってきた住民と一緒に、地域のつながりを実感できるような環境の整備に取り組みます。新しい地域づくりを進めていくために、

ひとりの不幸も見逃さない～つながりのある地域をつくる～を基本理念に掲げ地域福祉活動計画を策定しました。



「社会福祉協議会」って??

「社会福祉協議会(社協)」は、地域福祉を推進する中心的な団体として社会福祉法で明確に位置付けられています。社協は、人びとが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現を目指した様々な活動を行っています。



基本理念

ひとりの不幸も見逃さない ～つながりのある地域をつくる～

練馬区社協の「目指すもの」を視点・姿勢・役割・機能の4点に分類し、様々な事業に取り組みます。各事業の年次計画については本計画に具体的に述べていますのでご覧ください。計画期間の4年間では①小地域福祉活動の推進、②人材の発掘・育成・支援に重点的に取り組みます。

基本理念を支える4つの柱



重点的に取り組む項目

①小地域福祉活動の推進

住民と一緒に、地域の課題の発見や解決を行う新たな支え合いの仕組みづくりに取り組みます。(詳細⇒P4～6)

②人材の発掘・育成・支援

つながりのある地域をつくるために、地域の問題をともに考え、地域づくりを進めるための研修等を行っていきます。(詳細⇒P7)

練馬区社協ではつながりのある地域をつくるために、住民や地域団体、関係機関と一緒に地域福祉活動計画を進めます。また、練馬区の策定する地域福祉計画とも連携し、地域福祉を進めていきます。

1. 小地域福祉活動の推進

小地域福祉活動とは、身近な地域で高齢者や子ども、障害者、外国籍の方など、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指して、住民や団体が取り組む福祉活動です。

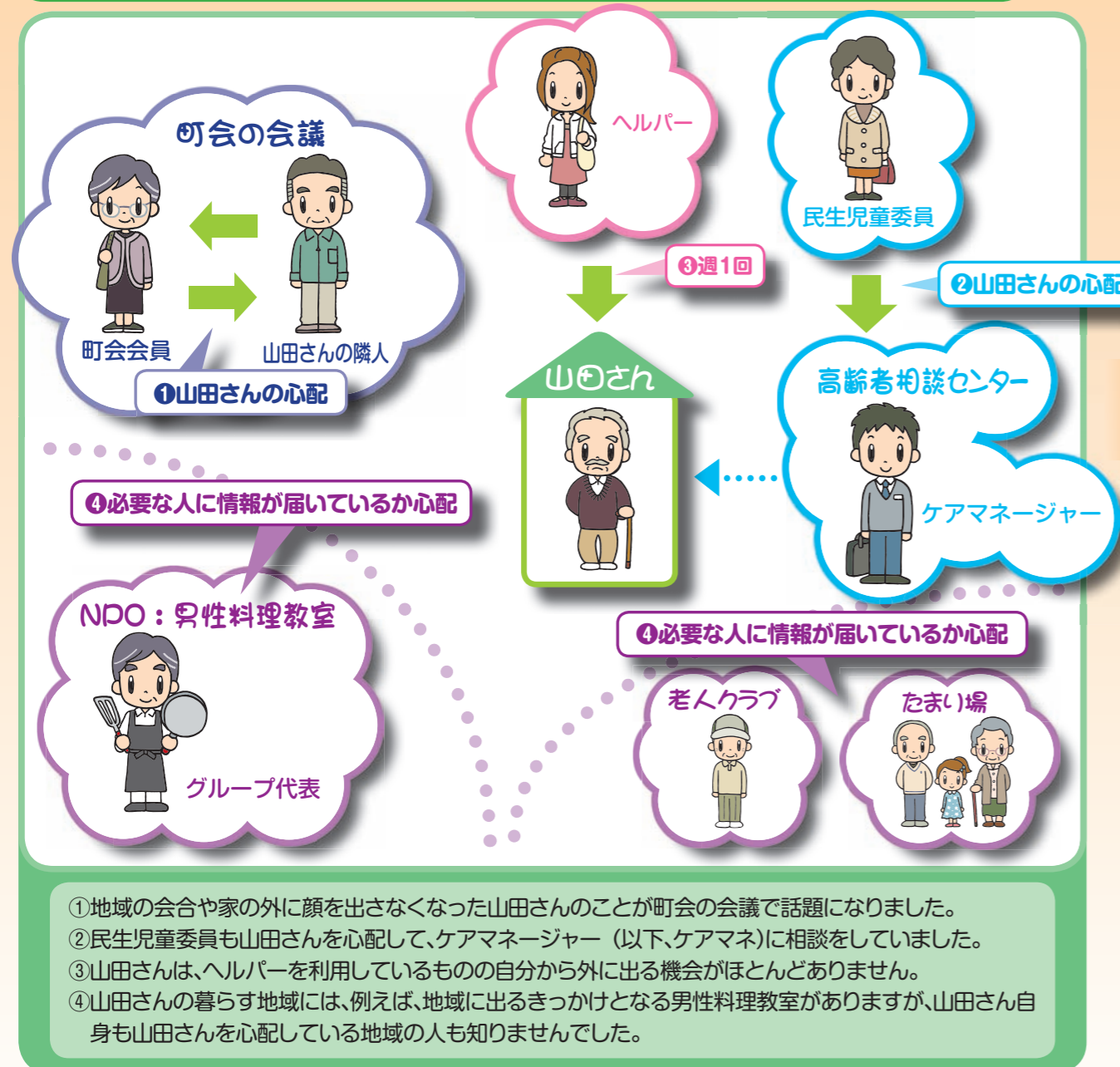
練馬区社協は、平成23(2011)年度から、モデル地区に地域福祉コーディネーターを配置して小地域福祉活動を推進していきます。

地域福祉コーディネーターとは、住民や団体、関係機関と情報交換や連携をしながら、住民による支え合いが広がっていくようにお手伝いする「地域のつなぎ役」です。

(1) ある地域の例

それぞれの心配…

- ・地域で心配している人がいました。
- ・同じ人を心配していることをお互いに知りませんでした。
- ・心配ごとを解決できそうな手だて(地域の団体やサービス)がたくさんあるのに知られていません。



地域福祉コーディネーターがいると…

- ・地域で心配している人同士がつながりました。
- ・地域の心配ごとを共有することで今まで知らなかった団体とも連携し、住民自身の手で解決しようと動き出しました。
- ・心配ごとを自分たちの手で解決していく中で、住民同士のつながりが強まり、支援の輪が広がっていきました。



- ①② 地域福祉コーディネーター (以下、コーディネーター)は、町会会議で最近山田さんを見かけないと話を聞きました。
- ③④⑤ コーディネーターはケアマネにも状況を確認したところ、ケアマネも民生児童委員から相談を受けていたことがわかりました。ケアマネは状況の確認のためすぐに訪問することにしました。
- ⑥ コーディネーターから男性料理教室があることを聞いていた隣人は、山田さんを誘い来週から一緒に行くことにしました。
- ⑦⑧⑨ 町会会員と民生児童委員はコーディネーターの勧めを受けて、定期的に山田さん宅を見守るようになる中で、自宅に引きこもりがちな田中さんに出会いました。自分たちに何ができるかコーディネーターと相談を進めています。

地域福祉コーディネーターは、このような取り組みが地域に広がっていくように応援します。

(2)小地域福祉活動の進め方

小地域福祉活動が地域に根付くまで、地域福祉コーディネーターは、住民と一緒に活動を進めていきます。



共有する

- 地域福祉コーディネーターが地域に出向き、地域の会合や集まりに参加して住民や団体と顔の見える関係をつくりながら地域の課題や情報を共有します。
- 地域の課題を地域で考える場をつくり、地域住民と一緒に知恵と力を出し合っ解決方法を探っていきます。

つながる

- 地域で課題の発見、解決に繰り返し取り組んでいくことで住民、団体、関係機関のつながりが強まります。
- 地域福祉コーディネーターは地域のつながりによる課題解決の仕組みづくりをお手伝いします。

地域の力

- 地域のつながりを活かして、住民リーダーを中心にさらに活動を展開します。
- 地域福祉コーディネーターは、住民の活躍の場や地域の支え合いがより広がっていくようにお手伝いします。

「ひとりの不幸も見逃さない～つながりのある地域をつくる～」ために
身近な地域で小地域福祉活動を進めていきます

2.人材の発掘・育成・支援

～地域で学び合う～

練馬区社協は

地域の中で学び合う機会を作り…

- 地域の課題をともに考えていけるような講座
 - 地域づくりをともに進めるための研修
- を行います

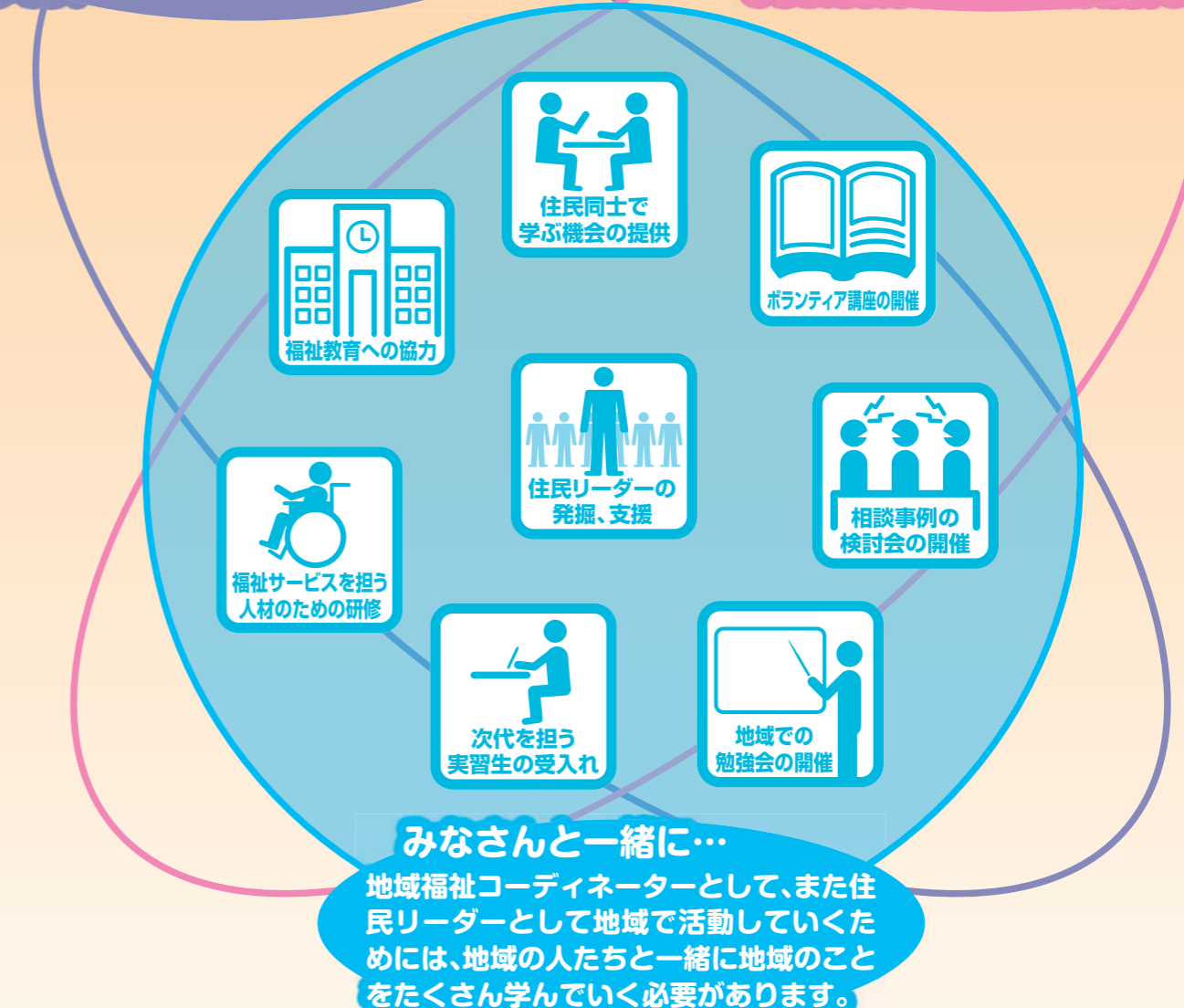


あなたも、私も…

福祉は誰にとっても身近でいつでも関わる可能性があること。そう思える人が増えることは地域のつながりをつくる第一歩です。

あなただから…

福祉サービスを必要とする人に適切なサービスをつないだり、使いたくないと思っている人にも「利用したい!」と思ってもらえるためには専門性が必要です。



「ひとりの不幸も見逃さない～つながりのある地域をつくる～」ために
住民も専門職も社協もともに学び合えるような研修等を行っていきます